

TARZAN THE APE MAN

密林にとどろくターザン・コール
スリルと冒険の夢をもって力強い雄叫びと共に
あのターザンが帰って来た!!



美しいジェーンの危機……
いま巨象の大群と共に密林の王者の猛襲が始まる!



類猿人ターザン

ポー・デレク◆リチャード・ハリス
ジョン・フィリップ・ロー◆マイルズ・オキーフ・ターザン
監督・撮影ジョン・デレク◆製作ポー・デレク
原作エドガー・ライス・バロウズ◆音楽ベリー・ポトキン
(カラー作品)

MGM映画
CIC配給



類猿人ターザン

THE APE MAN
TARZAN

MGM映画

CIC配給

スタッフ

監督……………ジョン・デレク
 脚色……………トム・ロウ
 ……………ゲーリー・ゴッダード
 製作……………ポー・デレク
 原作……………エドガー・ライス・バロウズ
 撮影……………ジョン・デレク
 美術監督……………アラン・ロドリック・ジョーンズ
 編集……………ジェームズ・B・リング
 音楽……………ペリー・ポトキン

キャスト

ジェーン……………ポー・デレク
 パーカー……………リチャード・ハリス
 ホルト……………ジョン・フィリップ・ロー
 ターザン……………マイルズ・オキーフ
 アフリカ……………アクシュラ・セラヤ
 象牙王……………スティーン・ストロング
 リアーノ……………マキシム・フィロウ



◆アフリカ奥地の広大なジャングル。長い歳月人間を拒み続けてきた未開の大地。そこに突然響き渡る『野性の雄叫び』。『グレート・ホワイト・エイブマン』と呼ばれる伝説の男。身の丈は2メートルを超え、その強靱な肉体はどんな動物、猛獣よりも勝り、向うところ敵なし。だがその心は文明社会の誰よりも純粹で優しさに溢れ、美しい女性ジェーンの心を虜にした男。ツタからツタへジャングル中を飛び移り、猛獣たちとの息づまる死闘の連続、アフリカ象やチンパンジーを従えて堂々と君臨する密林の王者——それがターザンだ。

エドガー・ライス・バロウズによつて書かれたこのヒーローは、無声映画以来ハリウッドの最も得意とするジャンルとして、過去幾度となくスクリーンに甦えり、そのたびに時代を越え、世代を越えて観客をスクリーンに釘付けにしてきた。それは1918年エルモ・リンカーンのターザン、エニッド・マーケイのジェーンというコンビで登場した第一作から数えて、実に15人のターザンと14人のジェーンが誕生したことから、いかにこのターザンというキャラ

クターが愛されているかがお判りになるというもの。誰もがこの冒険物語に心を躍らせ、ターザンの大活躍に、ジェーンの危険に無我夢中となるのである。そしていま再び、新しいターザンは甦えった。

◆19世紀の人類末路のアフリカのジャングル、巨大なニシキヘビとの死闘、伝説とされている巨象の墓場、紺碧の象牙海岸、不気味な原住民、動物たちの可愛らしさ、ターザンとジェーンの微笑ましい交流。ターザン映画に欠かせないスリルとユーモアをたつぷり盛り込んで、ここに待望の映画化となつて登場することになったのである。しかも今世紀最大の美女という最大級のキヤッチ・フレーズを与えられた『10テン』のポー・デレクがジェーンを演じるという映画ファンにとつては願つてもないキヤスティングが組まれたことで、この新作は歴代のどのターザン映画よりも更に魅力的なものに満ちている。スクリーンに映し出される彼女は、より輝きを増し、より美しくよりみずみずしく、よりチャーミングに観る者をとらえて放さない。

「10テン」で一躍世界中を夢中にさせ、騒がせたポーにとつて、これは本格的な主演第一作であり、また長年の企画だけあつて俳優の他にプロデューサーも兼ねるといふ一人二役の大任を背負つての大活躍をみせている。

彼女を囲む共演陣には英国演劇界のベテランで「王になろうとした男」のリチャード・ハリス、シンドバッド黄金の航海のジョン・フィリップ・ローらが顔を揃え、注目のターザン役には数多くの候補者の中からプロデューサー、ポー・デレクのおめがねに叶つたラッキー・ボーイ、マイルズ・オキーフが、野性味溢れるターザンを熱演し、見事なデビューを飾つている。

監督は実生活でポー・デレクの夫で、かつてハリウッドの二枚目俳優として活躍しその後カメランから監督へと変身ぶりを見せたジョン・デレクが撮影も兼ねて担当している。さすがカメラン出身だけあつて、彼の作り上げた「コマ・コマは、動く写真集と言われるほど美しさに満ちた映像を生み出して、過去のターザン映画とは一味違つたものになっている。

12月12^{（土）}日新春第一弾ロードショー！ 一般券<¥1,200>学生券<¥1,100>絶賛発売中！ (一般¥1,500の処) 学生¥1,300

丸の内東映パラス (535) 4740

池袋東急 (971) 2727

渋谷東急レックス (407) 7019

新宿東映パラス (351) 3061

新宿東急 (200) 1981